施工説明書

TOTO

台所用シングルレバー混合栓 (清水器兼用タイプ)

TKG38型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

🛇	してはいけない「禁止」内容です。
🔧	分解しないでください。

⚠ 注　意

禁止

湯水を逆に配管しないでください。

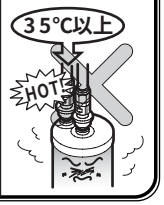
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
また、清水器及びイオン水生成器の故障の原因となります。

給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。

85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

清水器及びイオン水生成器は給水用です。
給湯配管には絶対に接続しないでください。
また、35℃以上の温水を通さないでください。

35℃以上でご使用になると、カートリッジが破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

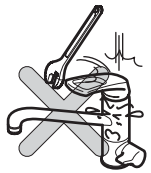


⚠ 注　意

禁止

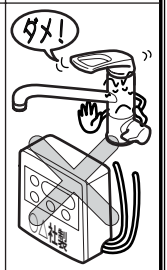
強い力や衝撃を与えないでください。

故障や水漏れの原因になります。



本商品はTOTO清水器(TK300B型,TK301B型)及びイオン水生成器(TEK511B1型)専用水栓です。他社の清水器及びイオン水生成器には取付けできません。

取付けの際は、この説明書と共に清水器及びイオン水生成器の取扱説明書や施工説明書をよくお読みの上、取り付けてください。
各説明書に記載の、種々の傷害及び物的損害が発生することがあります。



凍結が予想される場所には設置しないでください。

部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

分解禁止

修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。

故障や水漏れの原因になります。

2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.07MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度	給水（清水）	35℃以下
	給湯	85℃以下
使用可能水質		水道水及び飲料可能な井戸水
使用環境温度		1～40℃
用　　途		一般住宅台所用

3-1 取付け前に

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2MPa程度の圧力をおすすめします。ウォーターハンマーやバルブ開閉音が低減します。

●誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。

●誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。

●給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

●下記を参考にして、清水器の取付場所を選定してください。
※混合栓の下部(流し台下)で、既設の配管にぶつからない場所。
※混合栓から付属のホースで、設置可能な場所。
※ねじや両面テープで、取付台及びカートリッジ本体を十分に支えられる場所。(TK300B型のみ)

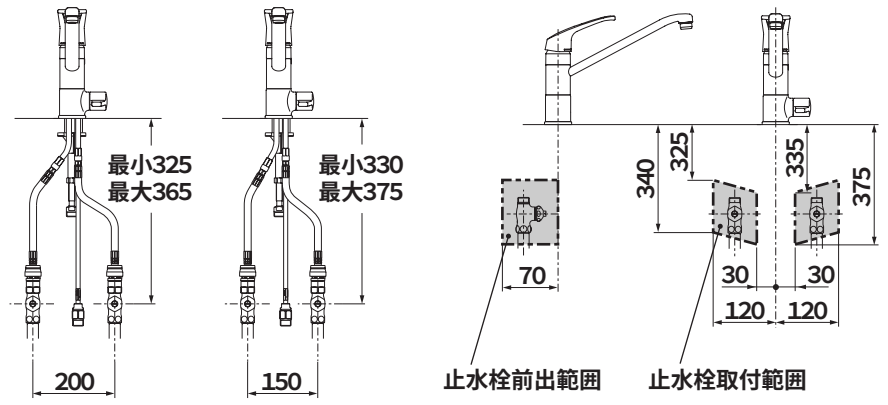
●イオン水生成器(TEK511B1型)を接続する場合は、イオン水生成器の施工説明書を参照してください。

●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、商品には問題ありません。

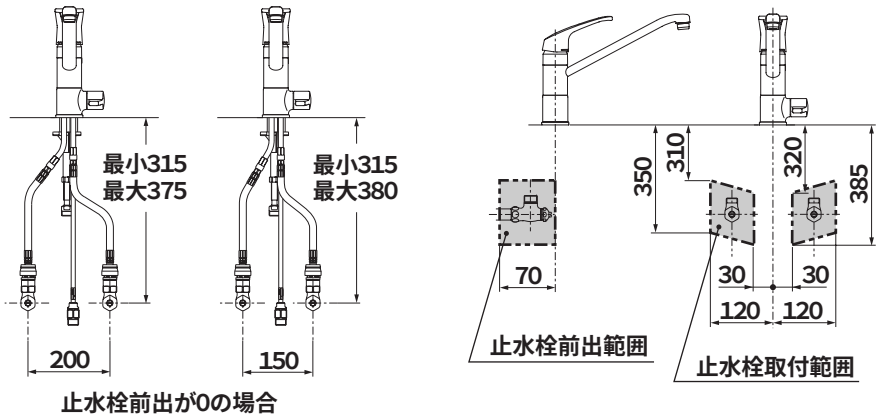
3-2

●水勢調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
下図に示す範囲内の止水栓位置にて、施工が可能です。

＜ストレート型止水栓の場合＞

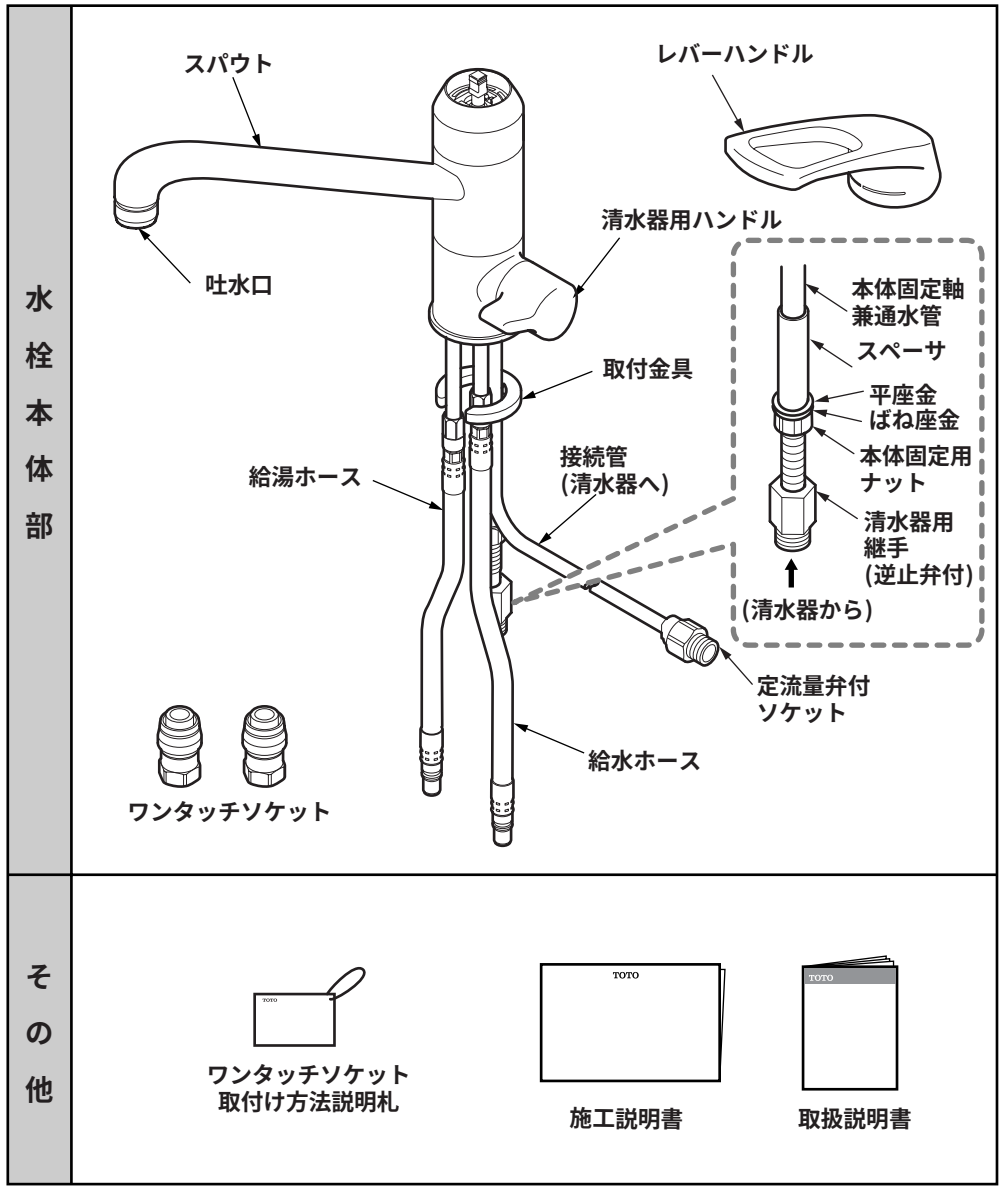


＜アングル型止水栓の場合＞



4 部品の確認

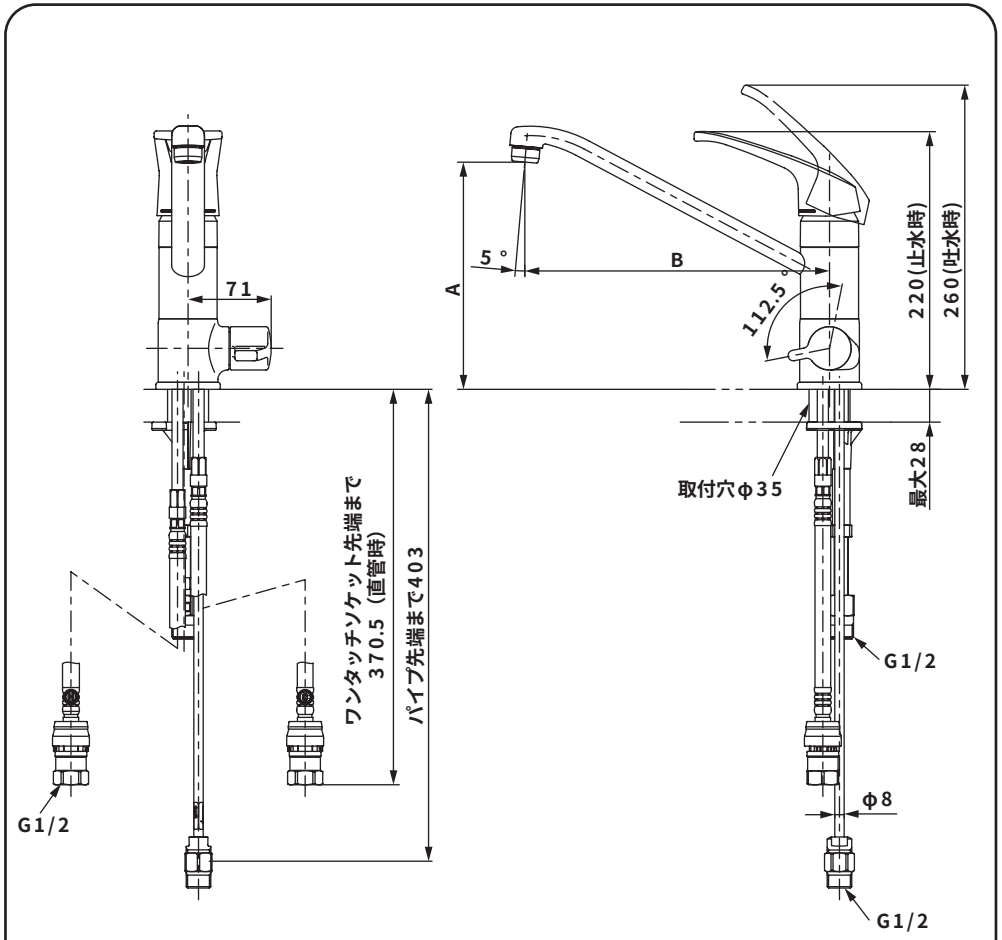
次の部品があることを確認してください。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

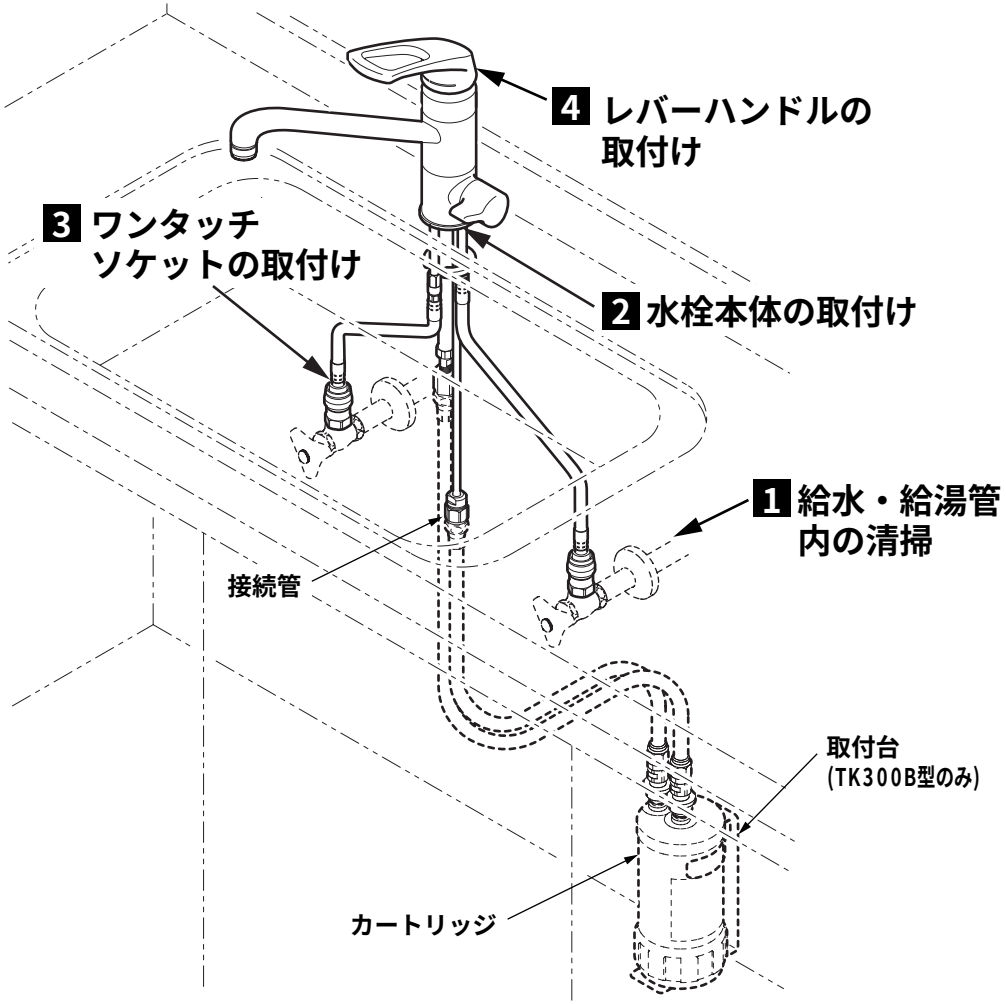
5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



品番	A	B
TKG38-1型	194	260
TKG38B型	178	279

6-1 水栓の施工手順



1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

2 水栓本体の取付け

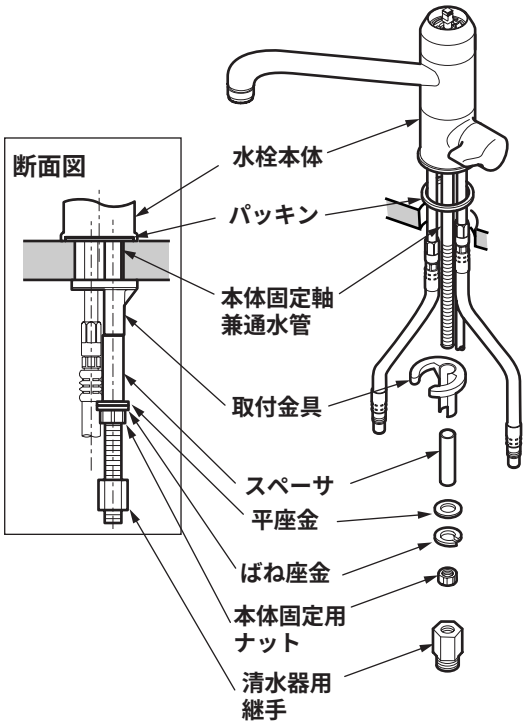
①水栓本体が正面を向くように仮固定する。

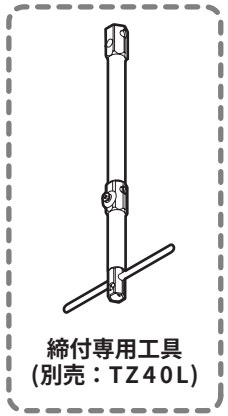
②本体固定軸兼通水管に取付金具、スペーサ、平座金、ばね座金、本体固定用ナットの順に差し込み、別売のナット締付専用工具(TZ40L)で確実に締め付ける。

注意

- **水栓本体下のパッキンの取付位置を間違えないように接続してください。**
- **水栓本体が取付穴の中心にくるように固定してください。**

③本体固定軸兼通水管に清水器用継手を取り付ける。





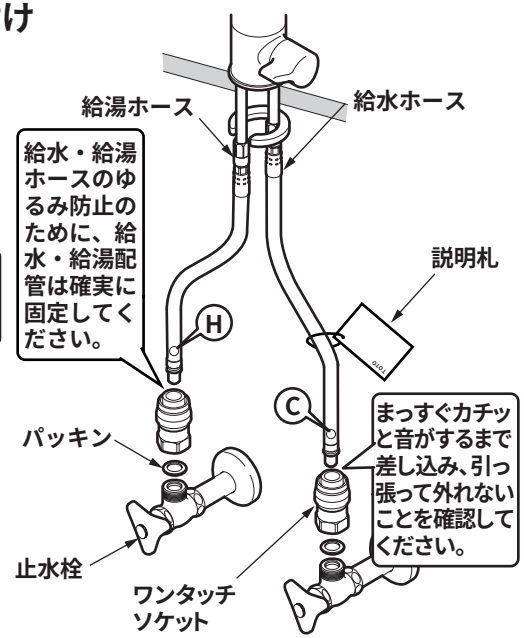
裏面へつづく

3 ワンタッチソケットの取付け

①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。

② 給水・給湯ホースに異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットにまっすぐ奥まで（カチッと音がするまで）確実に差し込む。

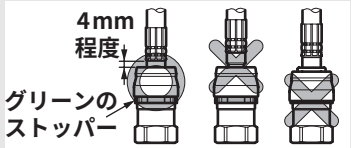
※この際、同梱の「ワンタッチソケット取付け方法」の説明札を必ずホースに通してください。



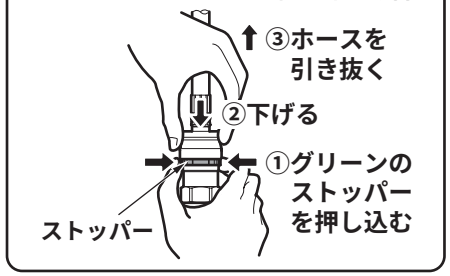
取付け後の確認

重要

●ホースをまっすぐ引っ張って外れないこと
●奥まで確実に差し込まれていること



<ワンタッチソケットを取り外す場合>



給水・給湯ホース施工上の注意点

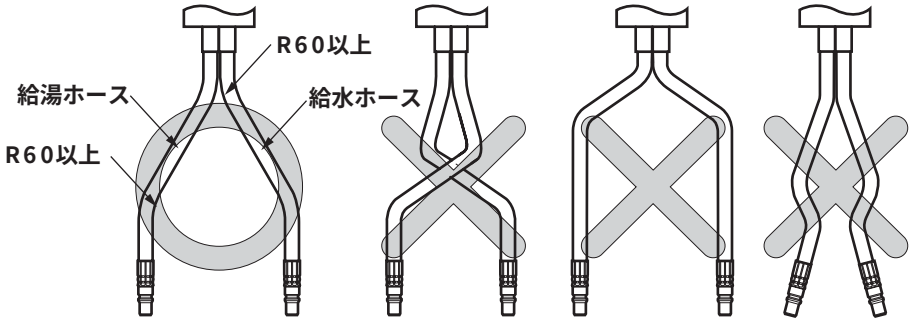
●ホースを必要以上の力で曲げて 折らないように注意してください。
万一折れた場合は、指でつまんでもとどおりにしてください。

●ホースの折れに、ご注意ください。
ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。

●ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。

●ホースを無理に引っ張らないでください。
ホースが折れる可能性があります。

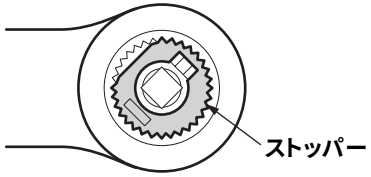
●ホース同士の不要な接触は避けてください。
外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



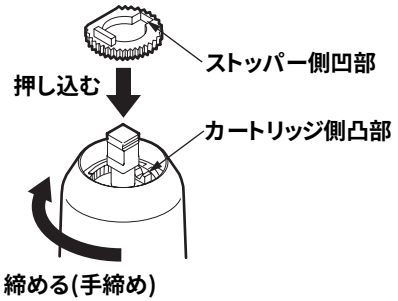
6-3

4 レバーハンドルの取付け

①ストッパーの浮きや外れがないか確認する。
※浮きや外れがある場合はカートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込んでください。



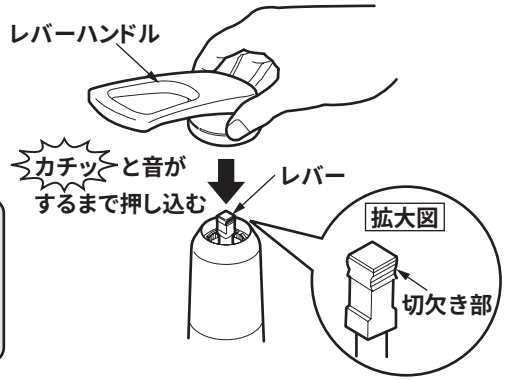
〈浮きや外れがある場合〉



※カートリッジ押えの歯とストッパーの歯が合わないときは、カートリッジ押えを **締め込む方向** にて歯を合わせるように調整してください。

②レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。

③レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。



注 意

レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向に注意してください。
レバーの切欠きは 両サイド にあります。

7-1 清水器カートリッジの施工手順

イオン水生成器(TEK511B1型)を接続する場合は、イオン水生成器の施工説明書を参照してください。

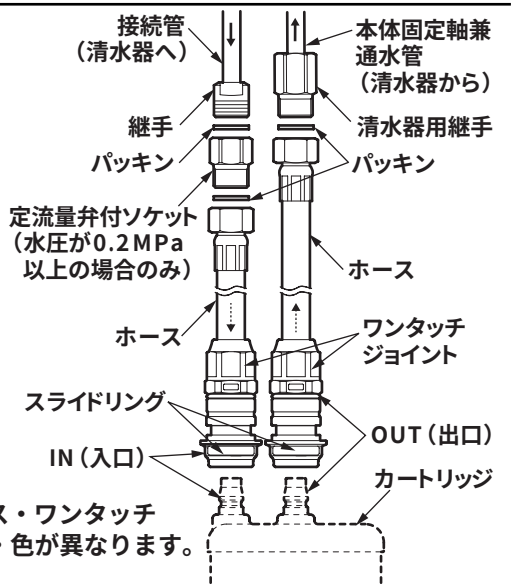
1 接続管の接続

2本のホースをそれぞれ継手にねじ込む。

注 意

●給水圧が0.2MPa以上の場合は定流量弁付ソケットを使用してください。

●水栓本体の接続管（清水器へ）とIN（入口）側ホースを接続し、同じく本体固定軸兼通水管（清水器から）とOUT（出口）側ホースを接続してください。



※TK300B型とTK301B型は、ホース・ワンタッチジョイント・スライドリングの形状・色が異なります。

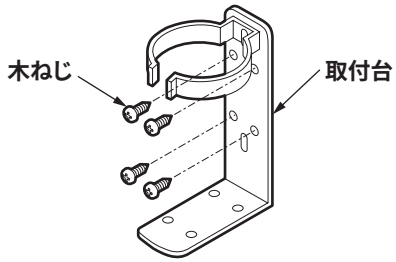
2-1 取付台の取付け（TK300B型のみ）

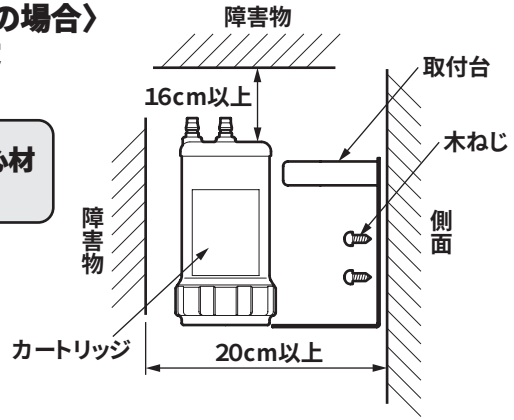
〈流し台のキャビネット部が木製の場合〉

付属の木ねじ（4本）で取付台を固定する。

注 意

ベニア板など側面が薄い場合には心材のあるところに固定してください。

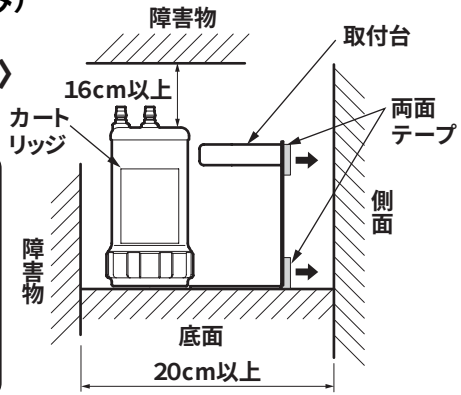




2-2 取付台の取付け（TK300B型のみ）

〈ステンレス、ホーロー流し台など、ねじ止めが不可能な場合〉

両面テープで固定する。

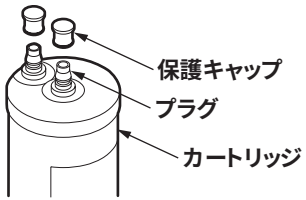


注 意

- 接着面の油分、水分、ほこりをよく除去し、取付台を流し台の底面に合わせ、側面に強く押さえて固定してください。
- 取付台は底面より浮かさないでください。

3 カートリッジの取付け

①カートリッジのプラグ先端の保護キャップを外す。

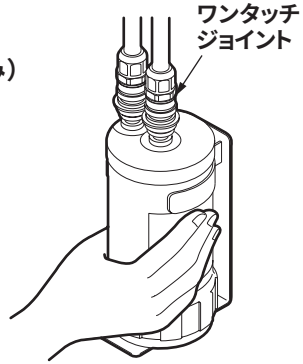


②カートリッジのシールとスライドリングとの色を合わせて確実に接続する。
（接続方法の詳細はTK300B型・TK301B型の取扱説明書を参照してください。）

③止水栓を開け、清水器用ハンドルを開にしてカートリッジに通水し、接続部から水漏れがないことを確認する。

④通水させながらカートリッジを持ち上げ、逆さま及び横にして、カートリッジをゆっくり振り、十分カートリッジ内の空気を抜く。
※空気があると水切れが悪くなることがあります。

⑤取付台にカートリッジを固定する。（TK300B型の場合のみ）



注 意

- ワンタッチジョイントの接続部にごみなどが付着しないように注意してください。
- ホースが折れ曲がったり、ねじれたりしないようにしてください。
- ホースがじゃまになる場合には結束バンドで固定してください。ただし、バンドを締め過ぎると、吐水量が少なくなりますので注意してください。
- ホースが給湯ホースに触れないようにしてください。

8 使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**
お客様に十分ご説明ください。

現　　象	説　　明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重たく感じることがあります。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。 この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたらいているためで、故障ではありません。
お使いはじめにくらべて、しばらくご使用されると、ハンドル操作が重く感じてくることがあります。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

9 点検項目

取付けが完了した後、次の項目を確認してください。

1.水出し確認

配管部の元栓、止水栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。

2.ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

取付金具の緩みはないですか？ 2－①

本体固定用ナットは固定されていますか？ 2－②

→ 6-1 － 2「水栓本体の取付け」参照

レバーハンドルはしっかり差し込まれていますか？ 2－③

→ 6-3 － 4「レバーハンドルの取付け」参照

3.水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

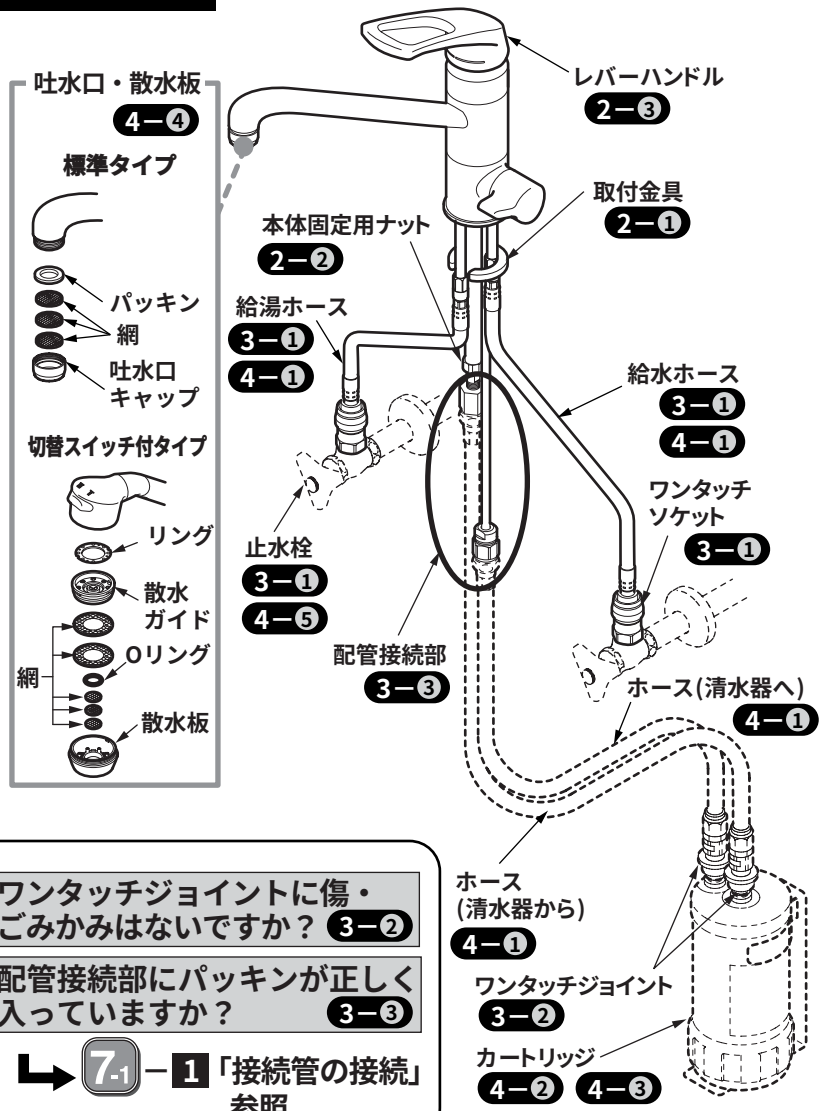
給水・給湯ホースとワンタッチソケット、止水栓とワンタッチソケットはしっかり取り付けられていますか？ 3－①

→ 6-2 － 3「ワンタッチソケットの取付け」参照

ワンタッチジョイントに傷・ごみかみはないですか？ 3－②

配管接続部にパッキンが正しく入っていますか？ 3－③

→ 7-1 － 1「接続管の接続」参照



4.流量及び吐水温度の確認

流量が少ないときや、水切れが悪い場合、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

ホースを逆に接続していませんか？ 4－①

→ 6-2 － 3「給水・給湯ホースの接続」参照

→ 7-1 － 1「接続管の接続」参照

カートリッジ内の空気は十分に抜いていますか？ 4－②

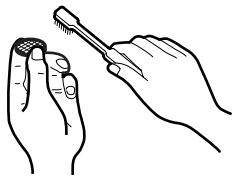
→ 7-2 － 3「カートリッジの取付け」参照

カートリッジの交換予定日(取付後12ヶ月)を過ぎていませんか？ 4－③

→ カートリッジの交換予定日を確認し、過ぎていたら交換する。

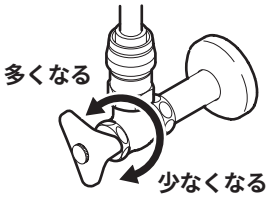
吐水口のごみつまりはないですか？ 4－④

→ 吐水口の掃除をする。



止水栓は開いていますか？ 4－⑤

→ 止水栓で流量を調節する。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。